

【第129号 二〇一五年 九月 五日発行】

福音の園®だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所 協会会長賞」受賞

TBSラジオ『メイ』のいきいきモーニング』取材放送

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定

350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地

特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局

☎049・230・1111 (FAX)230・1112

福音の園[®] Gospelgarden[®]は有限会社シヤロンの商標

理念・方針説明

ご家族の声

認知症の進行は明らかに遅くなっている

父は、道路での転倒事故をきっかけに、血友病であることが判明、長期入院しました。退院後、覇気のない状態が続いたことから、介護認定を受け、ヘルパーさんの援助で、仙台で一人暮らしをしていました。怪我しても病院に行けない、行方不明になるなど、事故や事件のたびに川越から仙台に駆けつける日々でした。

大震災の時は、家族が行くまでの一週間



何とか自力で暮らせたものの、一人で暮らす自信がゆらぎ、三年前ようやく福音の園への入所を受け入れてくれました。入所してから毎日人と触れ合う生活の中で、きちんとしなくてはと思うのか、本人なりに背伸びして頑張っているようです。その成果か、認知症の進行は明らかに遅くなっていると感じます。「福音の園は、本当に親切な人ばかり」が父の口癖で

す。家族としても、親切に甘え、父の心配をせずに安心して暮らせることに感謝しています。(H・K)

理念・方針説明

平成二十七年 目標達成計画

ターミナル期及び死後の

グリーンケア(悲嘆のケア)研修を終えて

グループホーム 福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳



【研修計画】全4回(毎月全員出席 定例スタッフ研修・会議日 九時半〜十時半迄 於・一階食堂ホール)

【研修目的】グリーンケアの基本を学び、ターミナル

期から死後における介護従事者の仕事(ケア)に対する考え方や姿勢(向き合い方)を見つめ直す。これにより、家族と職員の精神的サポート体制を構築する。

1回(前)ターミナルケア/10年間を振り返って

2回(前)グリーンケアの理解・特徴/元家族を迎えて

3回(前)グリーンケアの実際/受講/研修報告

4回(前)グリーンケアの考え方/訪診医師を迎えて

『(福音に基づいた) 希望への支援の実践』『最期まで

生き甲斐を支える看取り介護(看護)を目指す』

を理念・方針に掲げて14人の皆様に看取ってきた

(前年度未現在)。「ターミナルケア マニュアル」を作成

して「万全な看取り体制」を目指してきた。時には、

『葬儀社到着までしておくべき事』と題し葬儀社

代表夫妻を招いて園内研修も行なってきた(前年度)

ところが、「マニュアル通りとは行かず」旅立った

後も不安、孤独、寂しさ、罪責感、自責感、無力感

に苛さいなまれる」と云う精神的なダメージに直面

した。ターミナル期のケアだけでは充分とは言えなかつたと気付き、「死後のグリーンケア(悲嘆のケア)」まで踏み込む必要に迫られたことが経緯だった。

4回目は「組織として取り組むグリーン(悲嘆ケア)」を目指し、「本音で語ろう! ありのままを大切に」

をテーマに入居者看取りでお世話になった訪問診療ドクターを囲み、『自宅看取り 正しい医師さん』

(朝日新聞出版)に掲載「看取り実績のある診療所リスト・

全国3980診療所」に「自宅看取り率60%」の

ひろせクリニック院長 廣瀬哲也 医師 から学んだ。

研修を通して、10年を振り返ることができた。

ターミナルに入るとご本人がいかに穏やかな最期を迎える事ができるかを考えてきた。しかし、

同時に始まるご家族等の悲嘆を考慮していただろうか。どう受け止め、処理していくかを再確認でき、

各自「癒しの時間」となり、研修目的達成を実感した。

【追伸】 次全員研修教材に「コンプライアンス」冊子を立案し、出版社担当者に同席の上「回覧・説明」頂

いた。「冊子紹介」を終えたT氏に退席をうながすも「最後まで!」と希望された。後日、感想を寄せてくれた。

「訪問の際には、スタッフ研修に最後まで同席をお許

しいただけたこと、厚く感謝を申し上げる次第です。

「スタッフ研修とはどういうものなのだろうか?」と仕事上・商品上の関心から出たお願いではありませんが、

看取り退居された入居者ご家族の方のお話。「苦労をねぎらってくれる人はいても、父のことを想い出話として

話したかった」 スタッフの方が大変だったことも含めて想い出話を分かち合ってくれていることに、何か新しい視点を得ました。この日、出版社T氏も「グリーンケア」について、深く理解された一人だった。

来訪歓迎 第20回「ボランティア体験プログラム」

①本〇也様(高校1年生) ②〇〇奈様(高校3年生)

③○○○子様 (社会人)
御礼 メロン・スイトコーン ○○農園様 (北海道○○町)